

数値目標

数値目標を設定し、本計画を推進します。

基本方針	No.	項目	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和12年度)
生涯にわたる スポーツ活動の推進	1	週1回以上スポーツをしている成人の割合	42.9%	55%
		週1回以上スポーツをしている働く世代 (20～64歳)の割合	33.0%	45%
		週1回以上スポーツをしている高齢者 (65歳以上)の割合	54.4%	65%
	2	卒業後、自主的に運動やスポーツをしたいと 思う中学2年生男子の割合	71.0%	90%
		卒業後、自主的に運動やスポーツをしたいと 思う中学2年生女子の割合	61.0%	80%
	3	「障がい者スポーツ・レクリエーション教室 開催等事業」の参加者数	2,347人	3,400人
アスリートの発掘と育成	4	国民体育大会に出場する選手数	196人 ▶令和元年	220人 ▶令和12年
	5	国民体育大会における獲得点数	222.2点 ▶令和元年	250点 ▶令和12年
	6	全国障害者スポーツ大会に出場する選手数	0人(大会中止) ▶平成30年度：24人	40人
スポーツを通じた 地域社会の活性化	7	市主催スポーツイベントの県外参加者数	2,873人 ▶「瀬戸内倉敷ソーデー マーチ」の平成30年 度(1,783人)及び 「倉敷国際トライアス ロン大会」の令和元 年度(1,090人)の県 外参加者数の合計	4,000人
		8	スポーツ大会・イベントを観戦した人の割合	数値なし
	9	スポーツボランティアを行ったことがある人の 割合	数値なし	20%
スポーツ環境の整備	10	市スポーツ施設の利用者数	1,357,961人	1,460,000人
		「学校体育施設開放事業」の利用者数	1,064,315人	1,100,000人
	11	倉敷市スポーツ情報サイト 「Kurashiki Sports Navi」の閲覧数	438,581件	1,000,000件

◆SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)◆

2015年の国連サミットで採択された2030年を年限とする持続可能な世界を実現するための国際目標。倉敷市スポーツ基本計画は、持続可能なまちづくりに取り組むために必要な理念であるSDGsの達成につながる計画として策定しており、基本方針ごとにSDGsのゴールを表示し、その推進を図ります。

倉敷市スポーツ基本計画は、倉敷市のホームページで
ご覧いただけます。

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/15256.htm>



倉敷市文化産業局文化観光部スポーツ振興課

〒710-8565 倉敷市西中新田640番地
TEL: 086-426-3855 FAX: 086-421-0107
Email: sports@city.kurashiki.okayama.jp

倉敷市のスポーツに関する情報は、
「Kurashiki Sports Navi」をご覧ください。
<https://www.k-sports.or.jp>



倉敷市 スポーツ 基本計画

令和3(2021)年3月

スポーツで創ろう！
倉敷の笑顔と元気

Sports in Life

倉敷市

生涯にわたるスポーツ活動の推進



市民の誰もが、体力や年齢等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

幼児・児童期のスポーツ活動の推進

青少年期のスポーツ活動の推進

成年期のスポーツ活動の推進

高齢期のスポーツ活動の推進

障がい者のスポーツ活動の推進

アスリートの発掘と育成



アスリートの発掘や育成、強化を継続的に行うことにより、本市の競技水準の向上を図ります。

未来のアスリートの発掘・育成と指導者の養成

アスリートの競技力向上支援

スポーツで創ろう！ 倉敷の笑顔と元気 ～ Sports in Life ～

4つの基本方針を柱に、スポーツ振興施策を推進します。

生涯にわたる
スポーツ活動の推進

アスリートの発掘と育成

スポーツを通じた
地域社会の活性化

スポーツ環境の整備

スポーツを通じた地域社会の活性化



スポーツを通じて、人と人、地域と地域の交流を促進し、活力ある絆の強い地域社会の実現と地域経済の活性化を目指します。

スポーツを通じた地域活性化

スポーツ参加人口の拡大

地域スポーツの体制づくり

スポーツ環境の整備



誰もが身近に、気軽に、そして安全にスポーツに親しむことができる環境整備を図ります。

スポーツ施設の整備

スポーツに関する情報発信の充実

スポーツを支える人材の拡充

▶オリンピック発祥の地であるギリシャのアテネ神殿のイメージを基に、本市の基本方針を表しています。

スポーツの定義

スポーツには、「する」、「みる」、「ささえる」等、様々な関わり方があります。世代や機会に応じて、生涯にわたってスポーツに親しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見つけることが大切です。

ウォーキング

サイクリング

ラジオ体操

ストレッチ

スポーツ観戦

スポーツボランティア

これらはすべて **スポーツ** です！



連携・協働体制

生涯スポーツ社会の実現には、幅広い分野での連携が必要不可欠であり、行政だけでは到底達成することはできません。市民の皆様をはじめ、スポーツに関わるすべての方々の積極的な参加が必要です。

計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間

